

平成29年度第2回四万十町文化的施設検討委員会会議録

日 時 平成30年1月23日（火） 14時から

場 所 四万十町役場 東庁舎1階 多目的大ホール

出席委員 内田純一、谷口和史、林 一将、山本哲資、高垣恵一、池田十三生、青木香奈子
下元洋子、酒井紀子、武内 誉、刈谷明子、友永純子

欠席委員 林 伸一、川添節子、森本民之助、中平浩太

事務局 川上哲男教育長、熊谷敏郎教育次長、
生涯学習課（林 瑞穂課長、味元伸二郎副課長）
図書館・美術館（森山典将主幹、長木千葉美、谷脇八代美、田井真里奈、山口 香、山地順子）

○日 程

1. 開会

2. 議事

（1）第1回検討委員会のまとめ

（2）今後の検討委員会での協議内容の方向性について

（3）その他

○配布資料

- ・第1回四万十町文化施設検討委員会会議録
- ・オーテピア高知図書館 サービス計画 概要（1）・（2）
- ・瀬戸内市としょかん未来プラン

○会議概要

1. 開 会

(事務局)

生涯学習課長の林でございます。最初は事務局からということで、これは会議録についてでございます。

この会をご案内するに当たって皆さんに、第一回の会議録を皆様にお示ししています。委員長と副委員長に確認して、ホームページ上に掲載したものと同じものです。ただし前回の会議録が皆様の個人名での記載の確認をしていませんでしたので、個人名でなく「委員」と表記させていただきました。

今後は委員の名前を表記して公開していく方針で考えております。これについては情報公開制度の趣旨に沿った措置ということでご理解をお願い致します。

(内田委員長)

事務局の提案について質問等はございますか？

(反対意見なし)

では今のご提案に沿って会議を進めさせていただきます。よろしくお願いたします。

それでは議事に入らせていただきます。

まずは第一回検討委員会のまとめですが、今回はこの会の設置の主旨、そして四万十町の現状と課題を事務局から説明していただいたあと、現地視察として大正、昭和へ行きました。

改めて私が感じましたのは、この会の議題が盛りだくさんですね。そして見せていただく中で、民具類もたくさんありまして、それをどうしていけばいいのか、私も委員の一人として考えておりました。

設置要綱では、「四万十町における文化施設（図書館、美術館、歴史民俗資料館等）の在り方およびそれらの制度に関する検討」となっていますが、当面の「歴史民俗資料館等」の扱いについては、検討会の中心に位置づけるよりも、図書館および美術館の機能を中心に文化施設の在り方を検討してみたいと私は思っております。そこを諮らせていただきたいというのが議題の第一なんですね。

とはいえ、見せていただいた民俗・民具等の資料は大変貴重なものでありまして、そしてそれが郷土資料あるいは郷土学習において、子どもを含めて、町民を含めて、自分たちの地域を学んでいくに当たって非常に大事な教材ではあります。

ですので、図書館および美術館の機能に集中しながら、民俗・民具資料を除くのではなくそれらをどう生かしていくかを含ませていく形で協議を進められればと思っています。こういう方向を、委員長の案として提案させていただき、意見を頂きたいというのが第一回のまとめです。いかがでしょうか？

(小休中。第一回検討会に不参加だった委員のために、内田委員長が自己紹介。初参加の委員からも自己紹介)

(酒井委員)

ざっくりスケジュールがあると嬉しいかと思います。どうして、郷土資料館を大事なものと位置付けるけれども図書館と美術館のことを進めるのか、腑に落ちる説明をしていただくには、何年度には何をするのかを順繰りにして、民具のところに行くには何年かかるのかとかがあると、委員や町民の皆さんに理解が得られるかと思うので。

(内田委員長)

ありがとうございます。

前回の資料ですが、この委員会自体が30年度、つまり来年度の3月で委員が切れるということですので、それまでに何を求められているのかの計画をお示しできていたとは思うんですね。そこを考えると、計画を立てるには難しいのではないかというのが大まかな理由です。

来年度は少なくとも6回検討委員会を開く計画になっております。6回の中でしっかりと議論を詰めるには、先ほど申し上げたように協議内容を絞り込むことが必要だと思っているのです。

〈内田委員長が方針について質疑を求める。意見上がらず〉

(内田委員長)

二番目の議題になります。図書館および美術館の機能を有する施設の在り方について検討をしていきます。

まず、委員の私たち自身が各地の事例や取り組み、考え方を学習しながら進めていくのも当然ですが、町民の意見や要望をより踏まえてやれるかという協議の進め方ができるか、意見を頂きたいです。

一つ申しますと、今日欠席の窪川高校の校長先生は「高校生の意見を取り入れてくれないか」とのことでした。若い人たちがどんな意見・要望を持っているのかは、協議を進める上で必須の課題ではないかと思っています。そのような形で広くご意見を頂きたいわけです。

(友永委員)

具体的に、図書館と美術館をここに移してこういう施設にするかとか、そういう計画は具体的にあるんでしょうか？

(内田委員長)

今の範囲で事務局から回答をお願いします。

(事務局)

事務局から簡単に説明させていただきます。

まだ具体的にどこに建設するかなどは決まっておりません。この検討委員会と並行して、窪川の街並みをどうしていくか。商店街活性化も含めて検討するプロジェクトチーム、ワーキンググループがありますので、それで一定の方向性を定めていく中で決定したことに合わせて、この計画を進めていくという粗方の考え方はあります。ただ、最終的に「どこ」などが決まっていないのが現実です。

(内田委員長)

全町的な動きも踏まえながらというのは、私たち自身が協議をしていく上でも情報があったほうが話しやすいですね。どうなるのか分からないまま話し合うよりも、少しでも分かった上で協議を進めるのがよいのではないかというのが今のご意見だったんじゃないかと思いますが。

ありがとうございます。

他にございますか？

(酒井委員)

一点は図書館や美術館なんですけど、実際に働いている方からの意見ももっと聞きたいと思っています。少子高齢化の中で、でも利用者は10代の子のほうが多いという現状で、ハード面の施設だけ綺麗に整えても、図書館や美術館をより充実して使うために、施設設立までにどういった働きかけを町民に行うのか並行して行っていければいいと思います。

あと、こういった会議の場は、発言しにくくて。私は言えるのでいいですけど。せっかくこうやって席を同じくしても、「あの方はどういう人なんだろう？」という探り合いで消耗してしまって。せめて、同じ席で3人くらいのグループになって、ファシリテーターとかコンサルの方を入れてもらったほうが、一回一回の密度が高くなると思うので、その辺を何かしていただければと思います。

(内田委員長)

ありがとうございます。

二つ目に言っていた協議の進め方ですね。小グループでやったほうが意見は出やすいと。

こういう会で意見が出にくいのは確かで、その辺をどうにかしないと協議は深まらないというところなので、工夫していきたいなと思っています。

一点目については、出来てから使ってもらうのではなくて、作っていくプロセスでの啓発活動が非常に大事なので、準備そのものが非常に大事な点なんだということですね。

それから、図書館や美術館で働いている方のご意見がまとまった形で分からないかですが、在り方を考えていく上での基礎資料になると。

ありがとうございます。

他にございますか？

(刈谷委員)

職員の声を聞くということですけど、普段から一番関わっている職員が、今の図書館の課題が何で、これからどういうところを新しくしていきたいとか、改善する時にこうしてほしいという一定の方針を図書館や美術館からぜひお聞きしたいと思います。

(内田委員長)

ありがとうございます。

第一回の時に、町立図書館と大正分館の現状と課題について、利用者数などの数字は出されているんですけども、実際働いている生の声はまだまだ見えていないかと思っています。

事務局で用意していただいたデータと施設の概要と課題は示していただいていますし、一定職員の意見も示していただいていますけれども、もっと生の声を聞けないかということですね。

(山本委員)

現実的には正規職員が一人もいないんですよ。全員、臨時。これで図書館・美術館が出来るかどうか。この辺りは多少無理してでも話を聞いて、長い時間をかけて話を聞いてどうすればいいか、やっていったらいいと思います。

(内田委員長)

ありがとうございます。

運営体制をどうしていけばいいか、こちらは基本方針を示すわけですけども、それを出す上での根拠や理由付けは大変大事なことであります。今の状態で本当にこんな構想で出来るのか？ ということをしっかり盛り込むことが重要でしょうか。美術館のことも同様でございます。

(林委員)

第一回目の会は組織が出来て、方向性の確認をしましたが、委員会の審議の「見える化」を図って、町民の利用者も一緒にという意見もあったと思います。色んな意見の中で、我々委員も学習をするという話が出ていました。

その中で、先ほどの意見で出たように、委員会では意見が出にくいので、部会を設置するかワークショップを開くかなどで、委員が認識を共同して、訴えていくことが大事だと私も思っております。

四万十町の現実を知るための視察で、全員が複雑な心境だったかと思います。色んな図書、美術品、郷土資料、古文書、これら全てを収納することはとてもできないかと思います。収納するだけでは意味がありません。いかにしてそれらを資料にして生かしていくかが大事だと思いますので、そうした学習を必要とすることでありまして、施設を作るなら専門的な知識の担当者、例えば学芸員などが必要になります。その専門知識や資格を持った人が採用されたら、できれば定年まで変わらずに設置して、その人に聞けばすぐ分かるというように、町民に広い範囲で知識が養えるようなことも必要だと考えております。

課題はたくさんありますが、そういうことも含めながら、全体的な方向面を話し合いまして、期間が短いので会の数も増やしまして、精力的に活動することを提案いたします。

(内田委員長)

ありがとうございました。この会の進め方についても工夫をしていきたいと思っています。

部会の設置について、規則上はできます。それについての意見も頂きたいですが、いかがでしょうか？

(山本委員)

その場合にもっと意思疎通をできる、チームワークを培えるように、小グループで意見交換したほうがいいと思います。

あと2回くらいそういうことをして柱が決まったら、図書館、美術館、民俗資料館という形でまとめていけばいいと思います。

(内田委員長)

ありがとうございます。

部会を設置するにしても、分散ではなく相互の関係が大事なわけですね。委員同士で全体のまとまりを深める必要があると。

他に何か部会に関連して意見はございますか？

(酒井委員)

あまりにも議題がざっくり大きいので、何を求められているのかが分からないから、出すものを全部出して、この意見には今答えられますよ、とか、こういう方向に行きますよ、とか言っていただいたほうがいいです。正直、夢のような話をしているものか、予算が足りないから構想が狭まるとか、何もかも分からないので、自分たちも分かっていないことを確認し合いたいです。

今日の会の総論みたいなものを教えてください。

(内田委員長)

この会の主旨は、基本方針の確認と、それをどういう形で協議していくかです。我々がどう会を進めるかもその一つです。どんな人に意見を聞けばいいか、こういう場所にも声をかけてみようかとか、どんな形で意見を聞けるかについて、意見を交換します。

次回は、ある先進地域をみんなで見に行き、そこから、どういう図書館、美術館を作っていくか、それこそ我々がワークショップをしながら構想に入る段階になります。

ですので、今日は「進め方」の部分です。グループに分かれて話し合ったほうがやりやすいのであれば、そうするのがいいとは思っております。また、疑問がたくさんあるので、それを書き出してみても、我々が目指すものは何かということを確認するという意味もあるのかなと思います。

そもそも、会の主旨が大きいのでやりにくいんですけど、それを絞ってやっていこうということでスタートしております。ですので疑問も遠慮なく自由に出していただいてもいいかと思うんですね。

話しやすさや委員同士の交流を深めるという点では、どうすれば町民の多様な意見を聞くことができるか、あるいは私たちはこれからどんな学習をしていけばいいのかについて、一度分かれてご意見をまとめていただく時間を取りましょうか？

(高垣委員)

それぞれの立場で「こんなものを作ったらいいね」という希望は、みんな持っているわけですよね？

皆さんそれぞれがあれやこれや夢のような話を出しても、「それはちょっと無理」と町が行政的な立場で予算がどうか言って、希望や理想が実現する裏付けがあるものか、はっきり言ったら町がやる気があるのかなのか、そこをしっかりとってもらわなくては何ぼ話をしても言いつばなしになると思いますがどうでしょう？

(内田委員長)

ありがとうございます。

「夢のような」と言っても、例えば基本、コンセプトのようなところには意見は出せる。それをより具体的、現実的なところに持っていくと制約が出ることもあるかと思うんですね。

現段階、当委員会においては、むしろ大きなところでの考え方や基本的な在り方をまとめていくということではあるかと思えますね。

最初からいくらでここはだめでここはよくてって制約の中で論議するのではなく、それはあんまり求められていないんじゃないかなと思います。「在るべき姿」「こう在ってほしい」というようなことは必要だと私は思っているのですが。

(谷口副委員長)

町の立場としてどのくらいのが可能か、計画性に則って我々は議論していくために、もう少し情報開示をしてもらって、それについて話してまとめてくれ、というほうが、もっと分かりやすいのでは？

夢の話で、ばくさと終わってしまうから、そうじゃなくて具体的に「ここはだめ」「それまではだめ」、町が考えている範囲で話し合っただけで知恵を絞ってくれというほうが、我々としては話しやすいんじゃないかと思いますが、どうでしょうか？

(山本委員)

せっかく集まっているわけだから、みんなの意見を交えることをもってほしい。

最初はみんなで夢を語り合っただけで、町から規制が出るにしても、一度は大風呂敷を広げたほうがいいと。

(内田委員長)

まず自分たちがどういうものを望んでいるのかということ、自由に出し合ってもらう時間を、グループを組んで出させていただく時間を作ろうという提案ですが……

〈事務局に確認〉

ではせっかくですので、グループで話してみたいと思います。どういうふうにグループを分けましょうか？

(林委員)

グループ分けはいいと思いますが、それはそれとして。

今年度は、会を立ち上げて研修をするということですが、ちょうど今、県に高知城の歴史博物館が出来まして、その館長さんから長年の苦勞話を聞かせていただく、それからいかにそれを活用して県民に提供していくか、非常に重要な課題であります。県と市の図書館も間もなくオープンということですし、四万十町の人口だとこのくらいは必要なんだよということをお聞きしてですね、そういう頭を持って進んでいくことも、非常に大事なんじゃないかと思えます。先ほど言いました学芸員の問題とか、高校生の意見を聞いて、あるいはコンサルの話も聞きながら、皆さんとまとめをして進めていく、そうい

うことも含めて、年内に勉強会をするのはどうかと思ひまして、発言させていただきました。以上です。

(内田委員長)

限られた委員会の中で学習の機会を持てるように、事務局とも相談して工夫をしていきたいです。

要綱自体は、必要があると認める場合は委員以外の者を出席させていい、意見を聞くことができるとなっています。講師を呼んで勉強会をすることも可能にはなっております。

私たちが学習をしながら検討の力をつけていくのはまさにその通りですので、そういう機会もまた考える方向で相談していきたいと思ひます。

では、分かれて自分たちが考える文化的施設像を、自由に意見交換する機会を作ろうと思ひます。

〈グループ分けのため座席を移動。のち3グループで討議〉

(2班の発表・事務局・長木)

2班からは五つの意見が出ました。「建てる場所」「建物」「雇用」「資料購入費」「サービス」です。

場所については、四万十町の真ん中、茂串山の頂上、町の活性化の一環として考える場所ということ

です。建物については、広さがあって天井が高く、明るく広い空間であること。庭もテラスもあってデザインも美しくて広い書庫もあるところ。小さい子供たちが気にせずゆっくりできる場になるように、また、個人が一人で読めるスペースと離れられるように、親子で寄りやすいのがいいんじゃないかと思ひてです。

また、美術館の設備の充実、図書館と美術館と一般展示室の設置などの声が出ました。

それから雇用については、正職員を採用するという意見が出ました。

資料購入費は大活字本や新刊をたくさん買える、児童図書だけでも四国一というのはどうか、という意見が出ました。

それからサービスは、学校図書館に本を届ける便がほしい、返却ポストを町中に何か所か設置したい、ネットで(本を)見たいということですね。

図書館専用の直行バスを出すという案も出ました。

それから声を聞く人については、小中学生、読み聞かせのグループの人たちはどうかという意見が出ました。

以上です。

(内田委員長)

ありがとうございました。これは記録にして残しておきたいと思ひます。

例えば「小さい子どもでも気にせずゆっくりできる図書館」というのは大事なフレーズですね。大事な言葉がたくさん出たと思ひます。

(3班の発表・下元委員)

では3班から。

2班と被るところもありますが、雇用について。図書館と美術館のスタッフを分けたほうがよいという意見が出ました。それと関連して、仕事量に関して、スタッフが少ないことによってできることが限られるという理由があります。

次に立地についてですが、駐車場の広さがほしい、場所が分かりにくい、駅から近いほうがよいのではないかと。特に大雨があると浸水する場所に建っているという欠点がありますので、そういう立地条件でないほうがよいという意見があります。

それから、バス停から近いか、(バス停を)増やしていただくか。図書館専用のバス停があるとよいのではないかとという意見があります。

次に建物について。児童室が狭いので広いほうがよい。全体的に狭いのでもっとスペースが広いほうがよい。美術館の展示スペースが狭い、などの意見が上がっております。

次にサービスについてです。美術展がまとまる大きな拠点があると、美術展に行きたい人にとってはとてもよいのではないかと、コミュニティの場所になるとよい、声を出していいような場所があるとよいという意見です。

あと、昭和にも図書館があるといい、移動図書館があるといい、CD・DVDを視聴できるコーナーがあるといいという意見。

それと、18時には閉館しているので、もう少し長く開いていると使いやすい、看板があると図書館の場所が分かりやすい、新しい図書が入りやすいといい、という意見があります。

以上です。

(内田委員長)

ありがとうございました。

3班からは、現状の課題を中心にまとめていらしたので、生々しい部分もありつつ、今できそうなことも含まれていました。

四万十町は広くなりましたから、館内だけ考えるのではなく、アクセスのこともより考えていくべきという発想が盛り込まれていました。

これも非常に大事な点を出していただいたので、記録にしながら討論にかけていきたいと思います。

(1班の発表・酒井委員)

1班は実現不可能なものばかり書いてしまいましたが、すごく平たく言えば、施設を一つにする必要はなくて、せっかく四万十町という土地に恵まれているわけだから、山を一つ丸ごと施設にして、図書館・美術館・資料館・プラネタリウム・ツリーハウスがあったり、広場があったり。あと自然にも恵まれているので、四万十町の植物を使った漢方畑を作るとか。四万十町の人たちがどうやって漢方を使っていたかも体験できるし、見ることもできると。それこそ子供たちが「遠足に行くならあそこ」とか思い出の場所になるような仕組みをここで作ってしまおうといいという意見がたくさん出ました。

よそに自慢できるようにとか、1億円もするような美術品が欲しいとか。本を選んだり美術品を見ている間だけでも託児があるといいのと、(施設の)外があれば利用者は楽かなと思います。

いっぱいありすぎて全部読んだら時間がないのですが、共通した意見は「利用しやすい空間」「楽し

くてまた行きたいと思える場所」。

私の個人的な意見は、無理は承知で、24時間開いていると有難いというものもあります。

子供が騒いでも平気なのと、静かなのと、共存するのは建物の中では厳しいし、山を使えばいいというのは理にかなっていると思いました。

あとせっかく四万十町は川がシンボルなので、川が残念なことになっているのはみんなの共通した意見だと思うので、研究所みたいなものもこの（施設の）中に入ってくれたら、（川が）どれだけ変化しているかも子供たちが見て取れるし、生きた施設にしていだけたらと。

どんどん古びていく施設は嫌、というのはみんな見ていると思うので、時代に合わせてずっと持っていけるようなものがあるとすごくいいかなと思います。

1班はこんな感じでした。

（内田委員長）

ありがとうございました。

二つの班とは違い、有機的に活性化していく施設、地域と密接に繋がっている施設という発想は、もともと大事な発想かなと思います。

ありがとうございました。

こうして大きな会議をやるより小グループで意見を出し合う形式が、皆さんの色んな声がよく聞こえたのはいいことかなと思いました。ぜひこれらを記録しながら、この「小さな声」を大事にして、討論を積んでいければいいかなと思います。またお願いします。

次回の検討会では現地視察を計画しております。

先進的なものを見て、それについてまた意見を出し合って、自分たちのところはどやうやって作っていくかという学習の機会は大切ですので、事務局に場所を選定しておりますので紹介していただきたいと思います。

（事務局）

次回の視察で考えている場所は、瀬戸内市立図書館です。2017年の図書館アワードでも大賞を取られたところです。高知県図書館大会に館長さんが来られて、色々お話を聞いたなかで、今後の図書館をどうすべきかという点はかなり明確にされている図書館でして、そこを（視察先に）提案したいと考えています。

（内田委員長）

今おっしゃったように、2017年に非常に良い図書館に選ばれた場所ですし、高知県にも（館長が）いらしたということですし、比較的近いということもありますが、皆さん、いかがですか？

【反対意見出ず】

では、次回はここに視察に行きたいと思います。

(事務局)

視察の日程は、3月4日(日)を考えています。

午前中の1時間から1時間半ほど、あちらの図書館の館長や事務局にご説明いただいて、午後は館内を見学させていただくように考えていますが、いかがでしょうか？

(内田委員長)

資料は、お手元にあります『瀬戸内市図書館の未来図鑑』がそれに当たります。

(事務局)

それでは向こうの図書館と調整を取りながらお願いしていく形にさせていただきたいと思います。

(内田委員長)

視察と、今日の話も踏まえて基本構想をまとめていくのが次年度となります。

私たちも学習していくこともございますので、講師をお呼びするような機会も、次年度は考えてみたいと思います。

もう一つ、オーテピアの図書館の資料がございますが、これはまた改めて紹介する機会があればその時にと考えております。私自身が基本構想から関わっていて、耐震問題があって開館が遅れたという経緯もありまして、サービス計画にも関わらせていただいています。7月24日がオープンです。またそちらも見に行くことも可能かと思います。

では本日の議事は以上でございます。

その他の意見はございますか？

【意見出ず】

(事務局)

それでは、第2回文化的施設検討委員会を終わらせていただきたいと思います。

お疲れ様でした。ありがとうございます。

【閉会】